

石垣牛でギネスに挑戦、串焼き世界一を達成—沖縄県石垣市役所

長〜い串焼き牛肉でギネスに挑戦——「石垣牛大BBQ（バーベキュー）大会」（主催：石垣市役所企画部観光交流推進課）が11月27日、平成25年3月開港予定の新空港建設地で行われた。沖縄県石垣市と八重山郡で生産されるブランド牛「石垣牛」と新石垣空港をPRしようと、串焼きの長さでギネス認定に挑戦したもので、これまでの記録を10m上回る107.6mを達成した。

当日、世界一に挑戦したのは、地元住民と観光客ら1710人。母親に手を引かれた幼児から80歳を超える人たちも参加した。12時15分から始まり刺し終わったのが午後4時近くになっていた。直径4mmで4mのステンレス棒を27本溶接した串に、5cm角にカットされた石垣牛のもも肉を串刺し、60本分のドラム缶で作られた特製焼き台で焼き上げる、その長さは108m。使われた石垣牛肉は、300kgに及ぶ。途中で2回串が折れるハプニングがあったが、再度溶接され困難を乗り切った。

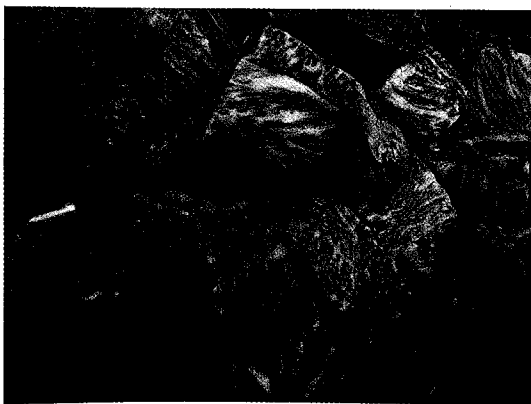
焼かれた串焼き肉の最後の一切れを中山石垣市長がたいらげ、ギネス・ワールド・レコーズ・ジャパン、アジアパシフィック地域代表フランク・フォーリ氏より認定証が渡された。朝からスタッフとして参加した中山市長は「串焼きに参加された方たちのほかに、準備段階から協力してくれた建設業組合、精肉業者やJAおきなわ肥育部会にも感謝する。皆でギネス記



録を達成できて本当に良かった」と満面の笑み。

最初から最後までスタッフとして走りまわり、先頭に立ち指揮を執った仲大盛吉幸・JA石垣牛肥育部会長は、「部会員が地道に行ってきた努力の結晶の石垣牛が串焼き世界一に認定されたことで、表舞台に立つことができて本当に嬉しい、これから皆で力を合わせ日本一の銘柄牛にしたい」と決意を語った。

首都圏で、一昨年10月より本格的に石垣牛を取り扱っている(株)ミートコンパニオンの植村光一郎・常務執行役もイベントの応援に駆けつけ、「地元で一貫生産され消費する環境が整い、住民や観光客に愛されている石垣牛は、ギネスで世界一の記録保持者になったが、肉質の良さでも記録保持者になることを確信した」と感想を述べた。人口5万人の島で、観光客を含めて1万5000人を集めた畜産イベントは大成功といえる。



串刺しされた5cm角の石垣牛もも肉



長さ 107.6m の串が完成した